大学･高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和7年度	学校コード	F102110100572	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）
大学名	弘前大学	設置区分	国立	事業計画名	弘前大学におけるデジタルアーキテクト【高度応用情報技術者】の育成
学校種	大学	都道府県	青森		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、未尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和7年度	【情報系組織の入学定員】 ＜修士＞理工学研究科博士前期課程理工学専攻：120名	【情報系組織の入学定員】 ＜修士＞理工学研究科博士前期課程理工学専攻：120名	令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①4月～3月　進学相談専用窓口の設置と懇談会の実施 ②8月　事業に必要な計算機システム（5年間のリース）の調達手続を開始 ③8月　新設する情報科学コースのカリキュラム、シラバスの設計及び学生進路相談窓口の設置 ④10月　情報科学分野の新規採用教員の採用活動	①4月～3月　進学相談専用窓口の設置と懇談会及び説明会の実施 ②7月　事業に必要な計算機システム（5年間のリース）の調達手続を開始 ③8月　新設する情報科学コースのカリキュラム、シラバスの設計及び学生進路相談窓口の設置 ④10月　情報科学分野の新規採用教員の採用活動		
令和8年度	【情報系組織の入学定員】 ＜修士＞理工学研究科博士前期課程理工学専攻：120名 7月　理工学研究科博士前期課程理工学専攻に「情報科学コース」を新設するとともに、入学定員16名増員する概算要求調書提出		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月～3月　進学相談専用窓口対応と懇談会の実施 ②4月　事業に必要な計算機システム（5年間のリース）の調達手続を継続 ③4月　事業に必要なクラウドサービスの契約 ④4月　技術職員（システム保守）の採用活動 ⑤7月　情報科学コース演習室の改修工事：2月竣工 ⑥9月、3月　県内･道内IT企業等と教員との連絡会実施 ⑦4月、5月、10月　新規教員の採用（教授2名、准教授2名、助教1名）（R8.3.9承認） ~~⑧1月　技術職員（システム保守）の採用~~（R8.3.9承認） ~~⑨~~⑧1月　電源改修工事：2月竣工（R8.3.9承認） ~~⑩~~⑨2月　ラック･免震装置等の備品購入（R8.3.9承認） ~~⑪~~⑩3月　電子計算機システム（リース）の契約（R8.3.9承認）			
令和9年度	【情報系組織の入学定員】 ＜修士＞理工学研究科博士前期課程理工学専攻：136名		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月～3月　進学相談専用窓口対応と懇談会の実施 ②4月　事業に必要な計算機システムのリース契約開始（令和9～13年度の5年間）（１年目） ③4月　事業に必要なクラウドサービスの契約 ④4月　新規教員の採用（教授1名）（R8.3.9承認） ⑤4月　技術職員（システム保守）の採用（R8.3.9承認） ~~④~~⑥4月　情報科学コースでのカリキュラム開始（R8.3.9承認） ~~⑤~~⑦9月、3月　県内･道内IT企業等と教員との連絡会実施（R8.3.9承認） ~~⑥~~⑧10月　カリキュラム点検･シラバス充実の検討会（R8.3.9承認）			
令和10年度	【情報系組織の入学定員】 ＜修士＞理工学研究科博士前期課程理工学専攻：136名		令和10年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　事業に必要な計算機システムのリース契約（令和9～13年度の5年間）（２年目） ②4月　事業に必要なクラウドサービスの契約 ③9月、3月　県内･道内IT企業等と教員との連絡会実施 ④10月　カリキュラム点検･シラバス充実の検討会 ⑤4月～3月　情報科学コースでのカリキュラム実施			
令和11年度	【情報系組織の入学定員】 ＜修士＞理工学研究科博士前期課程理工学専攻：136名		令和11年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　事業に必要な計算機システムのリース契約（令和9～13年度の5年間）（３年目） ②4月　事業に必要なクラウドサービスの契約 ③9月、3月　県内･道内IT企業等と教員との連絡会実施 ④10月　カリキュラム点検･シラバス充実の検討会 ⑤4月～3月　情報科学コースでのカリキュラム実施			
令和12年度	【情報系組織の入学定員】 ＜修士＞理工学研究科博士前期課程理工学専攻：136名		令和12年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　事業に必要な計算機システムのリース契約（令和9～13年度の5年間）（４年目） ②4月　事業に必要なクラウドサービスの契約 ③9月、3月　県内･道内IT企業等と教員との連絡会実施 ④10月　カリキュラム点検･シラバス充実の検討会 ⑤4月～3月　情報科学コースでのカリキュラム実施			
令和13年度	【情報系組織の入学定員】 ＜修士＞理工学研究科博士前期課程理工学専攻：136名		令和13年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　事業に必要な計算機システムのリース契約（令和9～13年度の5年間）（５年目） ②4月　事業に必要なクラウドサービスの契約 ③9月、3月　県内･道内IT企業等と教員との連絡会実施 ④10月　カリキュラム点検･シラバス充実の検討会 ⑤4月～3月　情報科学コースでのカリキュラム実施			
令和14年度	【情報系組織の入学定員】 ＜修士＞理工学研究科博士前期課程理工学専攻：136名		令和14年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　事業に必要なクラウドサービスの契約 ②9月、3月　県内･道内IT企業等と教員との連絡会実施 ③10月　カリキュラム点検･シラバス充実の検討会 ④4月～3月　情報科学コースでのカリキュラム実施			
令和15年度	【情報系組織の入学定員】 ＜修士＞理工学研究科博士前期課程理工学専攻：136名		令和15年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　事業に必要なクラウドサービスの契約 ②9月、3月　県内･道内IT企業等と教員との連絡会実施 ③10月　カリキュラム点検･シラバス充実の検討会 ④4月～3月　情報科学コースでのカリキュラム実施			
令和16年度	【情報系組織の入学定員】 ＜修士＞理工学研究科博士前期課程理工学専攻：136名		令和16年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　事業に必要なクラウドサービスの契約 ②9月、3月　県内･道内IT企業等と教員との連絡会実施 ③10月　カリキュラム点検･シラバス充実の検討会 ④4月～3月　情報科学コースでのカリキュラム実施			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	弘前大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。

⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）

⑨ 機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。

⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑫の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
すべての項目が要件を満たしている												

①～⑫の要件を満たしていない又は対象でない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑬,⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑬,⑭について	現在の状況
⑬文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
弘前大学では平成17年から弘前市(岩木地区)において岩木健康増進プロジェクト(大規模住民合同健診)を立ち上げ、20年にわたり、同地区住民を対象に健康状態の現状とその問題点を詳細に調査し、得られた情報を健診ビッグデータとして有している。現在は、多くの企業が岩木健康増進プロジェクトに参画し、健診データの収集、解析、社会実装に至るまで一連のプロセスが確立している。そこで得られた健診ビッグデータは、頭からつま先までカバーする多様な検査項目(約3,000項目)をはじめ、ゲノムから腸内細菌、軽度認知機能関連まで幅広い測定データからなり、自治体や企業と連携した事業展開がなされている。情報科学コースでは、企業や自治体が参画している研究の場と連携したカリキュラムを取り入れるとともに、県内外IT企業の協力を得て実施する「データサイエンスPBL演習」を実施することで、データ収集、分析、解析、社会実装に至るまでの一連のプロセスを学修できる機会を提供し、幅広い視野を持ったデータ活用のスペシャリストとなるデジタルアーキテクトを育成する。また、令和6年12月に青森県企業立地・創出課より要請のあった社会人向けデータサイエンス科目の開講については、青森県及び県内企業等と連携・調整を行っており、令和8年度に社会人向け履修証明プログラムとして開講する。	○10月16日に実施した情報科学コース説明会において、カリキュラム等の説明を行うとともに、本学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンスセンターの講師による授業に関する講演「岩木健康ビッグデータを中心とした超他項目データ解析」を実施し、情報科学分野の最新動向を説明し進学意欲の醸成を図った。 ○数理・データサイエンスに立脚しAIやビッグデータ等を活用することができる民間人材養成を目的として、学部レベルのデータサイエンス関連教育を高等学校等教員を含む社会人を対象に実施する履修証明プログラム「データサイエンス技術者養成講座」の開講準備の一環として、情報教育の現場におけるニーズや課題を把握するため、青森県内高等学校の情報科等を担当する教員を対象としたアンケート調査を7月に実施し、プログラムの開発を行った。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
理工学部では8月のオープンキャンパスにおける研究室紹介に加えて、毎年の総合文化祭において、小学生以上を対象とした「楽しい科学・サイエンスへの招待」及び「体験テーマ教室」を開催している。事前申し込み不要で小中学生向けの「楽しい科学」と、主として高校生向けの「サイエンスへの招待」では、各研究室がそれぞれの学問領域の研究内容や取り組みについて小学生にもわかるように紹介しており、初等中等段階の生徒に対して情報系分野を含む科学知識の涵養を図っている。また、夏休み期間中には中高生も参加する一般市民向けの「夏休みの数学」や、小中学生を対象とした「リフレッシュ理科教室」等を毎年実施しておりデータサイエンスの基礎となる数学の魅力を知る機会を提供している。加えて、SSH指定された弘前南高校(2016～)、五所川原高校(2024～)に対しては理工学部の教員が課題学習の助言を行っている。これらの取り組みは地域における初等中等段階からのIT教育・プログラミング教育の一翼を担うものとなっており、本事業中も継続するとともにデータサイエンスに特化した取組を充実して実施する。さらに、本事業では中高生を対象としてIT教育・プログラミング教育に関する体験教室・出前授業等を新たに行うことを計画し、本事業を通して弘前大学における高度情報人材教育を充実・深化させることにより、データサイエンス・人工知能・ビッグデータ等に関する初等中等教育段階での情報教育にも大きく貢献する。	○8月8日のオープンキャンパスにおいて研究室紹介を実施した。また、10月17日～19日の総合文化祭では、実験・実習体験型の企画として、小学生以上を対象とした「楽しい科学」を18企画、「体験テーマ教室」を3企画、高校生以上を対象とした「サイエンスへの招待」7企画を実施した。 ○8月2日～3日に「夏休みの数学」を開催し、微分方程式入門やAIに関する講義及びワークショップを行い、中高生及び一般市民のべ51名が参加した。 ○SSH理系女子育成プログラムにおいて、青森高校および五所川原高校の女子生徒24名に対し、理工学部女性教員が研究紹介および講義、座談会での助言を行った。 ○SSH指定校の五所川原高校および青森高校、さらにグローバルサイエンスコースを有する三本木高校に対し、課題学習の助言を行った。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
現状、本専攻の女子在籍比率は約9.2%であり、学部の女子在籍比率は約15%である。デジタルアーキテクトの育成においては、多様な視点や優れた発想を持った学生をより多く受け入れることが肝要であり、これまで以上に女性の視点を積極的に取り入れていくことが求められる。理工学部では女子学生確保の取組みとして、オープンキャンパスにおいて女子学生による女子高生への進路相談会を開催し、毎年冬期には青森県内の女子高生を弘前大学へ招き研究体験の機会を提供している。本事業では入試広報の一環として、Webによる進路相談会を開催し女性教員や女子学生が相談に応じる取組を行うとともに、高校生向けアントレプレナーシップ教育の一環として女子高生を対象に大学院を卒業した女性起業家や研究者による講演やメンタリングを行うことで進学後の具体的な道筋を示す取組を実施する。また、女子学生間の人脈形成の場を多く提供できるよう「学部女子会」を設置し女子学生の大学院進学率を向上させる。留学生については、協定校である太原理工大学と実施している学術交流について、今後は国際共同研究を進める計画であり、共同研究を通じて留学生の受入れや派遣を強化することとしている。また、弘前大学との継続的な研究交流を希望するインドのタミル・ナードゥ農業大学から教員及び大学院生を招聘し、数理データサイエンス分野の交流を行っており、これを起点として、留学協定を締結し本専攻の留学生の確保に向けて取り組む。また、青森県からの要請を受け開講するデータサイエンスに関する社会人向け履修証明プログラムを令和8年度から開始し、社会人大学院生確保に向けた端緒とする。	○8月8日のオープンキャンパスにおいて、弘前大学男女共同参画推進室主催による女子学生による進路相談会を実施している。理工学部等の女子学生が，女子高校生からの進路および大学生活等に関する相談・質問に対応している。毎年多くの女子高校生が参加しており好評を得ている。 ○弘前市が主催する「大学研究体験プログラム」に理工学部が協力し，大学の研究機器を実際に使用した本格的な研究体験を女子中高生に提供している。 ○女子学生が比較的少ない理工学部数物科学科および機械科学科において、学年を超えた学生交流を促進するとともに、女性教員との関係構築することを目的とした女子会を開催した。 ○履修証明プログラム「データサイエンス技術者養成講座」の開発を行った。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
東北地区に立地する八戸高専、一関高専、秋田高専とは、岩手大学理工学部、秋田大学大学院国際資源学研究科・大学院理工学研究科とともに、令和4年度より毎年「北東北地区大学高専交流会」を開催している。交流会では、高専生・大学生の研究成果の発表を行うほか、各学部長・校長との懇談会を通して、地域課題の解決に向けた連携や地域のSTEM教育への協力、志願者確保のための地域へのPR、女性研究者の育成や地域企業におけるインターンシップなどの協力体制構築を図っている。支援期間中には高専からの3年次編入生の受験者数の増加を図るため、懇談会で意見が出された編入学試験の日程や選抜方法の見直しを進めるとともに、八戸高専との連携講座の設立や内地留学等の連携事業を実施し専攻科学生の受入れを促進する。また、本事業により新たに開講する科目「ビッグデータ解析プログラミング特論」、「健康・医療ビッグデータ解析特論」、「データサイエンスPBL演習」等により得られたコンテンツや知見を体系化し、大学間で共有して活用できるように整備する。	○10月17日に北東北地区大学高専交流会が開催され、高専生・大学生による研究成果の発表が行われた。各学部長・校長との懇談会では「情報科学コース」の新設について説明した。 ○旭川高専と学術交流に関する協定を10月22日付で締結した。3月には旭川高専を訪問し、新設する情報科学コースについて説明を行った。 ○編入学試験日程や選抜方法の見直しのため、八戸高専等と検討を進めた。	

大学名	弘前大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－２.修士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	理工学研究科博士前期課程理工学専攻情報科学コース

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-																	
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	-	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	-	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	-	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	-	-	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	-	-																	
		進学者数	人	-	-																	
		その他	人	-	-																	
		進路不明	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

大学名	弘前大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度 選定	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	6	6																	
		入学者数	人	5	4																	
		女子学生数	人	3	0																	
		社会人学生数	人	2	1																	
		留学生数	人	3	2																	
	その他の学期	入学定員	人	0																		
		入学者数	人	0																		
		女子学生数	人	0																		
		社会人学生数	人	0																		
		留学生数	人	0																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	6	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	5	4	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	3	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	2	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	3	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.83	0.67	-	-			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	18	18																	
		在籍者数(D)	人	26	26																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.44	1.44																	
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	4																		
		就職者数	人	4																		
		進学者数	人	0																		
		その他	人	0																		
		進路不明	人	0																		
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0																		
		学位取得者数	人	4																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	0	0																	
		授業科目の単位数	単位	0	0																	

大学名	弘前大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－２.修士課程

年度				R7年度 選定	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	18	18																	
		入学者数	人	33	31																	
		女子学生数	人	1	2																	
		社会人学生数	人	1	0																	
		留学生数	人	1	3																	
	その他の学期	入学定員	人	0																		
		入学者数	人	0																		
		女子学生数	人	0																		
		社会人学生数	人	0																		
		留学生数	人	0																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	18	18	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	33	31	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	1	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	1	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.83	1.72	-	-	-		-	-				-	-	-		-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	36	36																	
		在籍者数(D)	人	59	64																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.64	1.78	-	-	-		-	-				-	-	-		-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	23																		
		就職者数	人	22																		
		進学者数	人	1																		
		その他	人	0																		
		進路不明	人	0																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	3	3																	
		授業科目の単位数	単位	48	50																	

大学名	弘前大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度 選定	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	55	55																	
		入学者数	人	58	56																	
		女子学生数	人	6	9																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	55	55	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	58	56	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	6	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.02	-	-			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	224	224																	
		編入学定員	人	2	2																	
		在籍者数(D)	人	240	237																	
		編入学者数	人	2	2																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.07	1.06	-	-			-	-				-	-			-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	57																		
		就職者数	人	27																		
		進学者数	人	28																		
		その他	人	2																		
		進路不明	人	0																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	3	3																	
		授業科目の単位数	単位	22	20																	

大学名	弘前大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	90	90																	
		入学者数	人	74	85																	
	その他の学期	入学定員	人	0																		
		入学者数	人	14																		
	入学者合計	入学定員（A）	人	90	90	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	88	85	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.98	0.94	-	-			-	-				-	-				-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	330	330																	
		在籍者数（D）	人	441	459																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.34	1.39	-	-			-	-				-	-				-		

３.大学全体の状況

３－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	270	270																	
		入学者数	人	306	302																	
	その他の学期	入学定員	人	0																		
		入学者数	人	7																		
	入学者合計	入学定員（A）	人	270	270	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	313	302	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.16	1.12	-	-			-	-				-	-				-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	540	540																	
		在籍者数（D）	人	608	634																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.13	1.17	-	-			-	-				-	-				-		

大学名	弘前大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,322	1,322																	
		入学者数	人	1,424	1,340																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員（A）	人	1,322	1,322	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	1,424	1,340	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.08	1.01	-	-			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	5,692	5,692																	
		編入学定員	人	60	60																	
		在籍者数（D）	人	6,012	6,012																	
		編入学者数	人	28	30																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.06	1.06																	

４.外部資金の状況（全学）

項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
外部資金獲得額	千円	4,852,255																		

特記事項

「様式2-4-1_b」の「その他の学期」の入学定員「0」は、若干名を意味している。